

Y04a 天文に特化した合同進学説明会の開催

田島由起子(自然教育事務所 宙)、飯山青海(大阪市立科学館)、北畠悦子(島本町立第一小学校)、成田直(豊能町立吉川小学校)、西村昌能(京都府立洛東高校)、有本淳一(京都市立塔南高校)、栗野諭美(岡山天文博物館)、定金晃三、松本桂、福江純(大阪教育大学)

大学進学先として、天文学を学べる大学は案外と各地にあるものの、各地域でその情報は十分に浸透しているとはいえない。今回、天文教育普及研究会近畿支部では、近隣や各地の大学の協力を得て、2008年6月22日に大阪市立科学館で、世界で初めて(たぶん)、天文学に特化した合同進学説明会、すなわち“宇宙(天文)を学べる大学”についての説明会を開催した。

開催決定から開催期日までの準備期間が一ヶ月半程度という慌ただしいスケジュールだったが、大学側は全国各地から集まり、資料参加も含めて18大学に上った。また高校生側は、事前申し込み制にできなかったので参加見込みが不明だったが、いざ幕を開けてみると、生徒が16校34人(うち引率なしできた学校8校)、大学生が2人、教員が16校16人となった。ざくっと見積もって、お客さん(高校生や関係者)が50人超、ホスト側(参加大学や世話人)が18大学30人程度で、ちょうど会場が満杯になる具合の成功度だった。

当日午前中に参加大学の内14校から、教育研究内容や大学の特色などについてプレゼンテーションが行われ、午後には高校生向けの講演が3本ほど行われた。アンケート調査も行い、21名の高校生から回答があった。大学紹介はわかりやすかった(20名)、研究内容に興味があった(18名)、講演を聴いて天文学への関心が高まった(11名)などの反応があった。

年会では、今回の説明会について、詳しい報告をしたい。